

森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1207

令和8年10月

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



イロハモミジ（大阪市内）

トピックス：技術開発と普及に関する取組（森林技術・支援センター）

ニュース：山口森林管理事務所、三重森林管理署、企画調整課

花草木：キバナサフランモドキ

我が署のスタッフ：兵庫森林管理署

森林事務所等紹介：上賀茂森林事務所（京都大阪森林管理事務所）

国有林最前線：福井森林管理署

技術開発と普及に関する取組

【森林技術・支援センター】

○普及に関する取組

森林技術・支援センターは、全国7つの森林管理局に1箇所ずつ設置され、森林・林業に関する技術開発とその成果を民有林への普及につなげる業務を中心に担っています。

近畿中国森林管理局 森林技術・支援センター（岡山県新見市）では、列状間伐やコンテナ苗植栽、早生樹（センダン・コウヨウザン）の植栽試験などの育林技術をはじめ、UAV（ドローン）や地上レーザ計測などのICT技術を活用した森林資源の効率的な管理手法の実証に取り組んでいます。これらの成果については、現地視察や技術普及活動を通じて、民有林の森林・林業関係者の皆様への普及を進めています。

こうした取り組みの一環として、当センターで視察可能な技術開発の内容を分かりやすくまとめた「森林・林業技術視察プログラム」（以下「プログラム」という。）を作成してい

ます。プログラムでは、コンテナ苗、早生樹、列状間伐、スマート林業など12のメニューを用意し、それぞれの見どころや視察に必要な時間を掲載しています。関心のある項目を自由に組み合わせることができるため、効率よく技術や取組への理解を深めていただくことができます。また、複数のメニューを組み合わせた4つのおすすめコースを用意しており、半日から1日で効率よく当センターの技術開発の取組をご覧いただけます。森林・林業に馴染みのない方でも参加しやすい内容となっており、実際に現場を見ながら楽しく学ぶことができます。

今後も本プログラムを通じて、地方公共団体等の職員や森林組合、林業事業体、企業・個人山林所有者、学生の皆様など、民有林の森林・林業に携わる方々への技術的支援に積極的に関わり、現地視察のご要望が

ございましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。

ホーム > 森林管理局へようこそ > 森林管理局の概要 > 森林技術・支援センター > 森林・林業技術視察プログラム

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/shisatsu_program.html

項目	メニュー	視察ポイント
植栽	大苗植栽、通年下刈り	○大苗の植栽コスト ○スギ・ヒノキ大苗等の下刈り時期ごとの初期成長
	早生樹センダン	○瀬戸内式気候での早生樹センダンの生育状況 ○施肥の有無による成長の相違
	早生樹コウヨウザン	○コウヨウザンの生育状況、スギとの成長比較 ○ノウサギ被害の状況や被害対策、萌芽による再生状況
	エリートツリー（ヒノキ）	○エリートツリーの初期成長 ○コンテナ苗植栽時期による成長の相違
	低密度植栽	○植栽本数別の生育状況 ○保育コスト分析や林冠閉鎖時期の予測結果等
間伐	列状間伐	○初めての列状間伐から30年経過した林分の状況 ○無間伐林分等との比較
針広混交林化	針広混交林化（列状間伐の実施）	○列状間伐実施後（平成19～20年度）の高木性広葉樹の状況、3伐6残の幅広の列状間伐の状況
	針広混交林化（天然広葉樹の活用）	○天然広葉樹の活用によるヒノキ植栽本数の低減 ○地植え、下刈り等の省略
	複層林施業（帯状伐採）	○下木の成育状況 ○上下二段林との違い
その他	里山広葉樹林の活用・再生	○里山林の整備・活用手法 ○天然更新（天然下種更新、萌芽更新）の状況
	スマート林業	○地上レーザスキャナによる高精度な森林情報の収集 ○ドローンで撮影した写真を用いた林分解析
	ノウサギ捕獲罠	○ノウサギN型誘引捕獲罠の仕組み、設置方法 ○現地の枝条等を活用した捕獲罠の試行状況

森林・林業技術視察プログラムの概要



森林調査後のデータ分析の様子



列状間伐箇所の視察



○技術開発に関する取組

・下刈り省力化に関する取組の歴史

林野庁が令和8年4月に公表した「再造林をめぐる状況」によると、再造林コスト425万円/haのうち、下刈り経費は102万円/haと約24%を占めており、下刈り作業の省力化や低コスト化は民有林・国有林に共通する重要な課題となっています。

近畿中国森林管理局の前身である大阪営林局では、昭和40年代には下刈り試験地を設置し、下刈り方法（区域全域を刈る全刈、苗の間を筋状に刈る筋刈、苗の周りを刈る坪刈等）による省力化と植栽木の生長に関する調査を実施してきました。近年ではドローンなどで撮影した画像を活用して「下刈りが不要な箇所」を見極めたり下刈り回数を減らしたりするなど、「いかに効率的に下刈りを行うか」という視点へと発展しています。

当センターにおいても、間伐材の樹皮から作ったシートによる下草や雑草の生育を抑える効果の検証や、無下刈り施業に適した苗木の種類の比較、通年下刈り※試験など、省力化に向けた技術開発に取り組んできました。なかでも、通年下刈り試験では、苗木の成長に大きな影響はなく、下刈り作業中の苗木の切損や、作業する人の熱中症・ハチ刺されを減らせる可能性が確認されました。

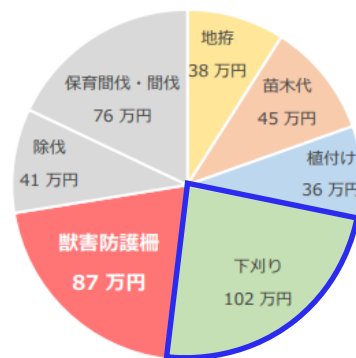
現在は、新見市内の^{あかたき}赤滝国有林、^{かまたに}釜谷国有林、^{たかたろう}高太郎国有林において、植栽木の成長量調査と併せて、下刈りの実施時期や回数の違いが成長に及ぼす影響について調査を進めています。

このうち釜谷国有林では、令和7年度に夏と冬、令和8年度には夏に下刈りを行いました。その結果、下刈り時期や回数の違いによる苗木の成長への大きな影響は今のところ確認されていません。また、気温の高い夏を避けて作業することで、作業環境の改善や安全性の向上も期待されています。これらの結果は、時期を弾力化して下刈りを行うことの有効性を示す結果となりました。

※ ^{つうねん}通年下刈りとは、植栽した苗木の周囲に生える雑草木を、特定の時期だけでなく必要に応じて時期を問わずに刈り払う保育作業のことです。

「再造林をめぐる状況」令和8年4月
林野庁公表資料より引用（青色の枠部）

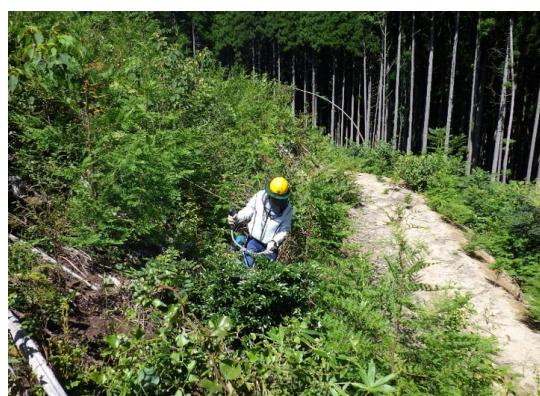
■ 再造林費用に占める獣害対策費用



通年下刈り実施後の状況
(釜谷国有林)



スギ大苗無下刈り区成長状況（釜谷国有林）



夏下刈り実施状況（釜谷国有林）

今後も調査を継続し、データの蓄積に努めるとともに、下刈り作業のさらなる省力化と低コスト化に向けた技術開発を進め、成果の創出と普及に取り組んでいきます。

令和8年度 林業即戦力短期育成ステップアップ研修（森林調査）に協力しました。

【山口森林管理事務所】

令和8年9月11日（金）、^{なめらやま}山口市徳地の滑山国有林において、山口県農林総合技術センターが実施する「林業即戦力短期育成ステップアップ研修」の森林調査実習で、山口森林管理事務所職員が講師を務めました。今年度で9回目の協力となり、森林組合職員など3名と県職員5名の計8名が参加しました。実習では、コンパス測量や輪尺^{※1}、^{そっかん}測棒^{※2}を用いた森林調査のほか、3次元地上型レーザスキャナ「OWL」^{※3}による森林計測を体験し、先進技術への理解を深めました。参加者からは「森林調査に関する技術や知識を深める良い機会となった」との声が聞かれました。



コンパス測量の様子



OWL 計測の様子



OWL データ解析の様子

※1 輪尺：樹木の直径を測る器具

※2 測棒：樹木の高さ（樹高）を測る器具。目測で木の高さを見るときの目安として用いる

※3 OWL：レーザで森林を立体的に計測する装置

令和8年度亀山中学校職場体験学習を実施しました。

【三重森林管理署】

令和8年9月9日（水）から11日（金）の3日間、亀山市立亀山中学校2年生2名が当署で職場体験学習を行いました。

^{やきお}焼尾国有林でのゴミ拾いや不法投棄防止啓発ポスターの作成・設置、測量機器を用いた境界標識探索、木工品見本作りなどを体験しました。



国有林内のゴミ拾い



不法投棄防止啓発ポスターの作成と設置



境界標識の探索

生徒の皆さんは積極的に活動に取り組み、森林や林業、国有林の管理業務への理解を深めました。将来の進路を考える良い機会となれば幸いです。

未来の森を支える担い手を育てる ー林業大学校等にフォーカスー 京都府立林業大学校

【企画調整課】

近畿中国森林管理局と管内の林業大学校等 11 校で構成する林業大学校等協議会を設置し、森林・林業の次代を担う人材の育成・確保に取り組んでいます。

各校では森林・林業のプロの育成を目指し、学生達が知識・技術の習得に汗を流しています。各校をリレー形式で学生の日常や取組などをご紹介します。

京都府立林業大学校では、令和 8 年 8 月 24 日（月）から 9 月 18 日（金）までの 4 週間、2 年生が、キャップストーン研修第 1 クールに臨みました。

本研修では、学生が、就職を希望する林業事業体等で、プロセッサによる造材や GNSS 測量※、チェーンソーによる間伐など実践的な就業体験を重ね、卒業後に求められる技能と社会人としての適応力を磨きます。

研修先では、丁寧で温かなご指導をいただき、なかには本校卒業生が指導にあたる場面もあり、後輩を育てるその姿に、本校が紡いできた歴史と誇り、そして未来への確かなつながりを感じています。

※ GNSS 測量 (Global Navigation Satellite System 測量) とは、GPS をはじめとする人工衛星からの電波を利用して位置を測定する測量方法です。



キャップストーン研修の様子

京都府立林業大学校に関すること、学生募集、イベント案内は QR コードをご参照ください。



ホームページ



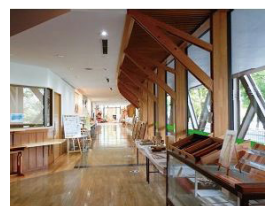
Facebook



Instagram

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【和歌山森林管理署】

○「高野山古事の森」見学会参加者募集について

【開催日】令和 8 年 11 月 14 日（土）

【集合場所】高野山「浄菩提院」前「高野山ミュージアム裏の広場」

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

ホーム>報道・広報>報道発表資料>「高野山古事の森」見学会参加者募集について

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/wakayama/231017_2.html



【奈良森林管理事務所】

○「斑鳩の里法隆寺古事の森」普及啓発イベントの開催について（参加者募集）

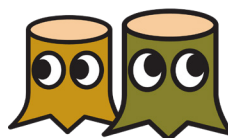
【開催日】令和 8 年 11 月 17 日（火）

【場 所】法隆寺

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

ホーム>報道・広報>報道発表資料>「斑鳩の里法隆寺古事の森」普及啓発イベントの開催について

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/nara/260918.html>



花草木

【キバナサフランモドキ】

キバナサフランモドキ（学名：Zephyranthes citrina）はヒガンバナ科タマスダレ属の常緑多年草です。

葉は線状長楕円形で多肉質、長さ 20-30 cm、幅 2-3 mm、断面は半円形です。花は黄色で、6 枚に見える花弁の花が長さ 17-25 cm ほどの花茎の先に上向きに一つ咲きます。花の時期は 7 月から 9 月頃ですが、1 つの花は 1 ～ 3 日で閉じます。次々に花茎が出るので開花期間は長くなります。

南米原産で、繁殖力が強く、花壇や道路分離帯などの緑として栽培されたものが野生化したりもしています。

花言葉は「汚れなき愛」「期待」「潔白な愛」です。



和歌山県内の公園で見つけたキバナサフランモドキです

我が署のスタッフ 兵庫森林管理署

松村 峻平（まつむら しゅんぺい）（令和7年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

治山グループの係員として、今年度から治山工事の監督業務に携わっています。

業務内容としては、治山工事の施工が必要な場所の踏査や、現地で工事に立会う監督業務等の現場業務から、受注者等との調整、次年度実行予定の治山工事の設計及び積算、予算管理等の事務作業まで、幅広い業務に取り組んでいます。

【職場の雰囲気は？】

職場の雰囲気としては、公私問わずコミュニケーションが取りやすく、業務上の問題が発生した場合はグループ全体で問題解決に向けて対応するので、一人で悩みを抱え込む必要がなく、安心して業務に取り組める環境だと感じています。

【林野庁の魅力は？】

治山、木材利用の推進、生態系保全といった、森林や木材、自然と密接に関わりのある仕事ができる点にあると考えています。

私が従事している治山事業では、自ら監督した構造物が完成後も形として残るため、自分の仕事の下流域に暮らす方々の安全な生活に貢献していることを実感しやすい点に魅力を感じています。



監督業務で資材の強度を確認中

森林事務所等紹介

上賀茂森林事務所（京都大阪森林管理事務所）

首席森林官 大石 政弘（おおし まさひろ）

上賀茂森林事務所は、京都市左京区、北区、右京区、亀岡市、南丹市、綾部市、福知山市及び船井郡京丹波町を管轄区域とし、国有林 15 団地 1,331ha 及び官行造林地 6 団地 400ha を管理経営しています。

京都市内には、世界文化遺産や国宝、重要文化財等に指定された寺社仏閣がたくさんありますが、それらを後世へ継承するために必要な修復資材や技能者が不足しています。この状況に対応するために設定された「世界文化遺産貢献の森林」が鞍馬山国有林（左京区）にあり、檜皮採取技能者である原皮師養成のためのフィールド等として活用されています。



鞍馬山国有林遠望



檜皮採取の様子

また、大悲山国有林（左京区）では、京都市北部の自然植生を代表するモミを主体とした高齢級天然林を「大悲山モミ希少個体群保護林」として設定し、定期的にモニタリング調査を実施して保護管理に努めています。

貴重な財産として次世代へ継承していくべき巨樹・巨木を「森の巨人たち 100 選」として選定していますが、大悲山国有林の「花脊の三本杉」と古屋国有林（綾部市）の「上津灰のミズメ」が選ばれ、適切な保護管理に努めています。



大悲山モミ希少個体群保護林



花脊の三本杉



上津灰のミズメ

古屋国有林では、地域における施業集約化を図るため、森林整備協定を締結して森林共同施業団地※を設定し、民有林と連携した路網の整備や相互利用等を推進しています。

今後とも、国民の皆様からの多様な要請に少しでもお応えできるように国有林の管理に努めます。

※森林共同施業団地とは、民有林と国有林が隣接する地域で、互いに連携して一体的な森林整備や路網整備を行う区域のことです。



古屋国有林間伐実施状況（森林共同施業団地）

シリーズ『国有林 最前線！』

ICT技術を使用した治山工事について

福井森林管理署

現場作業の効率化・生産性の向上のため、ICT（情報通信技術）を活用した建設工事が随所で進められているなか、福井森林管理署では令和6年度から実施している河内溪間工事においてICT施工を実施しています。

この工事では主に、起工測量、三次元設計データ作成、ICT建設機械による土工をICTにより実施しています。起工測量では、地上型レーザスキャナを使用し点群データの収集を行いました。これにより、従来のトータルステーション※を用いる測量より時間短縮・測量精度を上げることができます。

三次元設計データ作成では、起工測量により収集した点群データの精査・解析を行い、立体的な図形の作成を行いました。これにより作成した図面に設置構造物の立体データを合わせることで工事完成時のイメージを作業員と共有することが可能となります。

ICT建設機械による土工では、マシンガイダンスと呼ばれる技術を使用し、バックホウショベルの刃先位置と三次元測量データの誤差を自動追尾型トータルステーションで計測し手元のモニターに表示しました。これにより、従来設置していた丁張が不要となり床掘の基面確認が容易となります。

今後もこれらの技術を駆使し、効率的な治山事業の実行に努めてまいります。

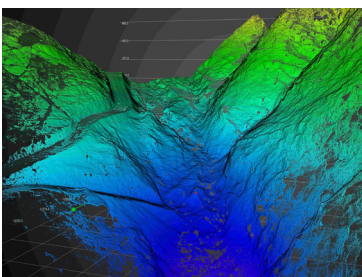
※ トータルステーション（TS）は、角度と距離を同時に高精度で測定できる電子式測量機器です。森林調査や境界管理などの現場で使用され、測量作業の効率化と精度向上に役立っています。



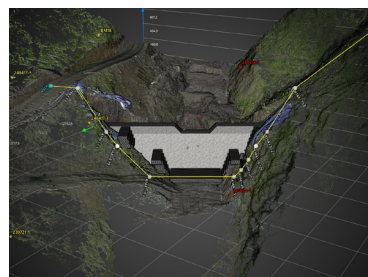
三次元測量風景



三次元測量風景（モニタ）



3次元起工測量の点群データ



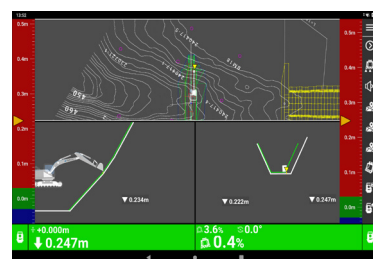
完成イメージ



施工後の完成写真



バックホウ内モニター



手元のモニター